



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和6（2024）年7月19日 第5号

文責：校長 佐藤 正貴

夏休みは何のためにあるのか？

明日から、8月27日まで夏季休業期間に入ります。7月に入り、熱中症警戒指数を見ながら「今日も外や体育館では遊ばせん」という放送が日常化してしまっていました。子どもたちも有り余る力を発散することができずに、ストレスがたまっていたと思います。それでも、あと数日で夏休みに入るということを学校生活のモチベーションにしながら頑張っていたことと思います。

さて、本日の夏休み前集会のことを今回はお知らせしたいと思います。朝から蒸し暑い状態であったため、オンラインで実施しました。まず、私から「夏休みは何のためにあるのか？」という質問をしました。目の前に企画委員会の児童が数名だけの状況であったため、子どもたちの反応を十分に見ることはできませんでしたが、各学級で様々な声が挙がっていたようです。企画委員会の児童に尋ねてみましたが、「暑いから」「勉強するため」「普段できないことをするため」など子どもたちなりにしっかりと考えてくれました。私は「1日は24時間です。この24時間を計画的に見通しを持って過ごす力を付けるためです。」ということをお伝えしました。やりたいこと、しなければならないこと、自分の事、家庭の事など、自分の判断で動くことができるようになってほしいと思っています。これは、子どもたちが社会に出るにあたり必要な力ではないでしょうか。勿論、夏休みの最初から最後まで計画的に過ごすということは難しいと思っています。逆に言うと、上手く過ごすことができないことが当たり前だと思っています。そんなとき、明日はこれだけはやり遂げようという目標を決めて、今日の反省を生かすことができたなら、それは素晴らしい事だと思っています。お子さんが上手く生活できていない、リズムが崩れている場合は、アドバイスをお願いします。1日の中で、何か1つでもやり遂げることができていたら、一緒に喜んで頂きたいと思っています。

夏休みの過ごし方・・・

夏休み前の集会で、昔から「夏休みの過ごし方」と題して生徒指導担当の職員が、交通ルールを守ること、川遊び、花火などは大人と一緒に・・・という話をしていました。

本校では、今年、企画委員会の代表児童が、夏休みの過ごし方についてメインとなる部分を話して、生徒指導担当が若干の補足をする形でした。7月に入って、西合志中学校の生徒会、第一小学校の児童会、本校の企画委員会の児童がオンラインで会議を行いました。議題は「夏休みの過ごし方についての課題」でした。小学校も中学校も共通して出た課題は「自転車の乗り方」「公共施設の利用の仕方」でした。その会議で話し合ったことを受けて、企画委員会の児童が「自転車に乗るときのヘルメット着用」と「ひまわり公園、図書館、弁天など利用の仕方」について話をしてくれました。ヘルメット着用については、被ってない人がいる、注意しても聞いてくれないという実態、公園にゴミを捨てる、公共施設で騒いでいるという実態（子どもたちが言うのだから間違いないです）があるということです。これを無くしていくために、一人一人の心掛けと互いに注意し合う事が大切だと話してくれました。最後に「きちんとルールを守らないと西合志中央小学校の児童は・・・といわれます。みんなができていないと思われれます。きちんとやっている人の迷惑になります。」とまとめてくれました。私がいつも言っている「学校・地域の生活で、人に迷惑をかけないことが大切」と話していることをしっかりと盛り込んでくれていました。

ありがとう！！！！！！



かかし！

5年生が作成した「案山子」です。10月にはたくさんのお米を収穫する事ができるようにグループで協力して作成していました。